

12月例会 「侃侃諤諤:どうする機青連」

12月1日 於 食事苑京阪

(株)辻製作所 辻 智之

ディスカッション形式の例会を食事苑京阪さんにて、開催いたしました。ご多忙の折にも拘わらず、若手の方を中心に多くの方に御集まりいただき有難うございました。

[Ⅰ部:年代別グループディスカッション]

入会年別のテーブルでは、同期同士久し振りに顔を合わせたり苦い思い出。良き思い出を合わせながら、「機青連」との自分との関りについて考えていただけたのではないのでしょうか。

[Ⅱ部:全体ディスカッション]

生田・寺田両歴代表幹事にコーディネートいただきながら、機青連の「フラット」とは? 「幹事になぜなるの?」「育とう・育てよう・育ち合おう」等の本質を探究いただきました。答えの方は、三役の方からあろうかと思しますので、ここでは割愛させていただきます。Ⅱ部で出た言葉を少しご報告したいと思います。「折角、機青連という会に入会し、経営者という立場であるならば、只、求めるだけの、受身側の会員ではなく、仕掛ける側、発信する側にならねば……………」というような言葉がありました。本当に世代関係無く、会員相互に強く発信し続けられれば御互いにより育ち合うことが実現できて行くのだろうかあつて感じました。

そんな中で、例会自身も、自分たちのポジション・現状の認識を昨年来より繰り返し行ってきた、危機感も焦燥感もある筈。なのに、今、本当に遣らなければならないことを見失いかけていたのではないかと考えさせられました。築かれてきた歴史と実績の上にある機青連というブランドと仲間とともに外へ向かって、発信し、より強き機青連(&自分自身)に、「チェンジ&チャレンジ」して行きたいものですね。

